

プログラム名：一緒に繋ごう！勝浦朝市430年の歴史と朝市存続への挑戦



プログラムの内容

- ▶【1日目】講演：「かつうら朝市の会」より勝浦朝市の歴史の変遷や、朝市が抱える問題を打破する取り組みや今の課題をお伝えします。
- ▶【2日目】体験：ただ見学するのではなく、朝市専用クーポン利用を通じた出店高齢者との交流により、朝市を実体験する場とします。

対象となる【SDGs「17の目標（ゴール）と169のターゲット】

- ▶ **8.3**：持続的な観光業を促進する
- ▶ **11.8**：都市部、都市周辺部、農村部間の良好な繋がりを支援する
- ▶ **12.8**：持続可能な開発及び自然と調和したライフスタイルに関する情報と意識を持つようになる
- ▶ **17.17**：効果的な公的・官民・市民社会のパートナーシップを推進する



事前学習

- ▶ 勝浦市ってどんな所？（人口・自然・産業等）
- ▶ 勝浦朝市の事前調べ（NET検索）
- ▶ 他の日本の朝市との比較
- ▶ 勝浦朝市の課題について自分達の仮設定

現地学習

- ▶ 講演での聴講と質疑応答
- ▶ 朝市でのフィールドワークによる実体験
- ▶ 朝市専用クーポンを利用しながら出店者とのコミュニケーションを通じた交流体験

事後学習

- ▶ 事前学習と現地体験との比較検証
- ▶ 自分達から見た勝浦朝市の課題の確定
- ▶ 対策の協議・検討
- ▶ 対策案の決定（朝市の会へお送り頂ければ、御礼を返信し、今後の参考とさせていただきます）

プログラムのポイント！



天正19年(1591年)に勝浦城主植村土佐守泰忠が農水産物の交換場所として開設して以来、約430年に渡り継承されてきた勝浦朝市は、様々な時代の波と高齢化や地域の衰退の影響を受け、いま存続の危機に立ち向っています。歴史的、文化的遺産であると同時に経済的、観光的な存在でもある朝市復興への取り組みを素材として、持続可能な開発を目指すSDGsの考え方を深めて頂きたいと思えます。

朝市受入人数	500名	対象	中学生・高校生
受入可能時期（休業日）	水曜日（年末年始以外）	1回 当たり料金	専用クーポン原資300～500円/人 朝市推進協力金35,000円/1団体
受入可能時間	08:30～11:00	備考 (雨天対応等)	150名以上の場合朝市は班分け・時間入替えが必要です。 講演(約1時間)は日程内で調整可能。 会場は学校側にてご用意ください。 雨天時は場所を朝市通りから別の屋内へ移して行きます。
体験時間	60分程度		

▶ 問い合わせ

名称：（一社）勝浦市観光協会
 担当：事務局
 TEL：0470-73-2500
 営業時間：08:30～17:15
 休館日：年末年始(12/31～1/3)